

第二十一回

熊本城（熊本県熊本市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

熊本市賞

該当なし

特選二句

御さがりや黒塗りの城慕われて

大阪府大阪市 野上 朝子

漁船がぐるぐる巡る祭りの日

熊本県熊本市 丸山本頭火

投句総数 十九 句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

奈良・斑鳩町賞一句

夢殿の手水一掬秋深し

奈良県北葛城郡 荻野 鷹生

特選三句

梵鐘に花のひとひら法隆寺

群馬県太田市 上村 和子

端正に枯るる蓮も法隆寺

大阪府高槻市 久保田 真理子

み仏の在すほとりの日向ぼこ

大阪府河内長野市 林 右華

投句総数 一三一 句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

子規はいく賞三句

漱石の猫と一緒に紅葉見る

愛知県愛西市 塘 和香子

さようなら貴方の笑顔は寒椿

東京都新宿区 西沢 大介

我輩と膝を並べる冬の縁

岐阜県瑞浪市 吉村 夕佳

特選三句

漱石邸の縁の日だまり紅葉散る

愛知県江南市 大原 裕子

冬うらら明治と言ふ名のカレー食ふ

愛媛県松山市 河村 章

山茶花の薬曼荼羅のごと燃ゆる

愛知県春日井市 野田 公雄

投句総数 一四一句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

子規庵（東京都台東区）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

へちま枯れ水のにほひを残しけり

兵庫県丹波市 熊野 岳

眉太き子規の自画像秋深む

東京都世田谷区 田村 申一

初旅の子規終焉の間に憩ふ

兵庫県西脇市 山尾 カツヨ

投句総数 五三句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選句

操舵室の氷雨にくもる窓ガラス

東京都葛飾区 杉森 智子

投句総数 十七 句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

魂込めし船てふ紅葉散りにけり

千葉県富津市 川崎 直子

桜散る大和に残る祖父の影

岡山県井原市 千のチヨロQ

大空へ飛んでみたいな雲雀の子

千葉県船橋市 丸山 秀雄

投句総数 五六句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

猫塚と穴八幡へ初詣

静岡県静岡市 五十嵐 光郎

窓よぎる鳥の群消ゆ冬霞

東京都新宿区 大畑 雅敬

猫塚にゆらりと落ちる木の葉かな

岩手県久慈市 上神田 博

投句総数 三三 句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

東松山市（埼玉県東松山市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選句

母の忌やささざんか梅雨の止む気配

埼玉県東松山市 中村 和子

投句総数 四句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

木枯しや会津盆地は隠れなし

宮城県仙台市 齋藤 伸光

さつまいもいっぱいほろうかんばるぞ

石川県白山市 中嶋 ひかり

雪の中凜と輝く鶴ヶ城

栃木県佐野市 八木澤 美智子

投句総数 六三句

開函日 平成二十八年一月三十一日

第二十一回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

大寒や羽二重団子夫と食み

東京都台東区 黒江 怜子

抱き移す三尺の鯉池普請

東京都荒川区 高安 政江

雪明りすべて包みて森眠る

東京都荒川区 谷井 千絵

投句総数 六〇句

開函日 平成二十八年一月三十一日